

2026 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/1年次/1年次 : /1st Year/1st Year
課程等/Program	/基盤教養科目/人間教養科目(2023年度以前入学者) : /Liberal Arts/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/後学期/後学期 : /Second term/Second term
分類/Category	//工芸科学教養科目 : //Science and Technology Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/月4 : /Mon.4

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10121403			
科目番号 /Course Number	10160133			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義 : Lecture			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	京都の文学Ⅱ : Literature in Kyoto II			
担当教員名 / Instructor(s)	/(本井 牧子) : /MOTOI Makiko			
その他/Other	インターンシップ実施 科目 /Internship	国際科学技術コース提供 科目 /IGP	PBL 実施科目 /Project Based Learning	DX 活用科目 /ICT Usage in Learning
	実務経験のある教員による 科目 /Practical Teacher			
科目ナンバリング /Numbering Code				

授業の目的・概要 /Objectives and Outline of the Course	
日	【京の霊地・聖地とその伝承】 京都の霊地・聖地まつわる説話伝承をよむ。主に宗教的な視点からその背景をかながえることにより、聖地・霊地のイメージ形成に説話伝承が果たした役割を跡づける。取り上げる作品は仏教説話が中心となるが、物語や芸能といった隣接分野にも目配りする。
英	

学習の到達目標 /Learning Objectives	
日	古典文学の文化的・宗教的環境を学んだ上で、京の霊地・聖地まつわる文芸についての理解を深める。
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 /Course Plan		
No.	項目 Topics	内容 Content
1	日 第1回	ガイダンス

	英		
2	日	第2回	深泥池(1) 大蛇の住む池
	英		
3	日	第3回	深泥池(2) 仏と神と一神仏習合の様相一
	英		
4	日	第4回	貴船神社(1) 神と本地一本地物の世界一
	英		
5	日	第5回	貴船神社(2) 恋の祈りと呪詛と
	英		
6	日	第6回	能「鉄輪(かなわ)」(1)
	英		
7	日	第7回	能「鉄輪(かなわ)」(2)
	英		
8	日	第8回	一条戻橋 境界としての橋
	英		
9	日	第9回	五条の橋 橋弁慶伝承
	英		
10	日	第10回	清水寺(1) 観音 験(しるし)を見する寺
	英		
11	日	第11回	清水寺(2) 法華経とその霊験
	英		
12	日	第12回	六道の辻 冥途に通う道
	英		
13	日	第13回	祇園社(八坂神社) 祇園会の伝承
	英		
14	日	第14回	課題作成指導
	英		
15	日	第15回	まとめ
	英		

履修条件 /Prerequisite(s)

日	
英	

授業時間外学習(予習・復習等) /Required study time, Preparation and review

日	授業で紹介する作品や関連書籍を読んだり、関連する博物館の展示を見に行ったりするなど、興味関心を広げてほしい。 本講義に対しては、67.5時間の予復習に充てる自己学習時間が必要である。
英	

教科書/参考書 /Textbooks/Reference Books

日	テキスト：資料を配布 参考書：授業中に指示
英	

成績評価の方法及び基準 /Grading Policy

日	毎回の授業時に提出するコメントシート(40%)および期末課題(60%)により評価する。コメントシート提出が三分の二に満たない場合は成績評価の対象としない。
英	

留意事項等 /Point to consider

日	授業内容や順序は、受講生の理解・関心等に応じて変わることがある。
---	----------------------------------

英	
---	--